



# 華となれ

宮城県仙台二華中学校

令和7年度学校だより 第12号

【発行日】 令和8年3月13日

【連絡先】 022-296-8104

【文責】 副校長 伊藤 進

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ」には、社会に貢献できる真のリーダー（華＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。



## 令和7年度 卒業式



3月7日（土）、保護者の皆様、御来賓の皆様に見守られながら、令和7年度の卒業式を挙行了いたしました。105名の卒業生が、それぞれの未来に向かって新たな一歩を踏み出していきます。

3年生の保護者の皆様におかれましては、義務教育修了という大きな節目を迎えたお子様の晴れ姿に感慨もひとしおのことと思います。心よりお祝い申し上げます。これからもお子様の前途を温かく見守り、導いてくださいますようお願い申し上げますとともに、3年間、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに衷心より感謝いたします。

### 答 辞 （抜粋）

思い返せば三年前。曇天の空の下、ひとときわ鮮やかに咲く満開の桜に迎えられ、私たちはこの仙台二華中学校に入学しました。列車に乗り、バスに乗り、これまでとは違う道を歩いて登校したあの日。期待と不安で胸がいっぱいだったことを、今でも鮮明に覚えています。

新型コロナウイルスによる制限は緩和されつつありましたが、初対面の人の前でマスクを外すことにどこか戸惑いを感じ、互いの顔もよく分からないまま始まった学校生活。そのような中で、SR巡検や体育祭など、さまざまな学校行事が次々と行われ、日々に精一杯向き合っていたことが、つい昨日のこのように思い出されます。そんな私たちを温かく導いてくださったのが、先輩方でした。みちのく交流プロジェクトでは、積極的に声をかけてくださり、その優しさや高いコミュニケーション力に感動しました。また体育祭では、係や種目に真剣に取り組みながらも、仲間と心から楽しむ姿を見て、私たちもそのような先輩になりたいと強く思いました。

先輩と呼ばれる立場に憧れを抱きながら迎えた二年生。部活動や体育祭、合唱コンクールなど、多くの場面で仲間とともに力を尽くしました。新人戦や文化祭では、活動の中心を担う立場となり、人をまとめることの難しさや責任の重さを実感しました。同時に、仲間と支え合い、高め合うことの大切さを改めて学びました。

そして迎えた三年生。最高学年としての自覚を胸に、さまざまな活動に取り組んできました。研修旅行では、事前準備から行動まで一人ひとりが責任を果たしながら、仲間との時間を心から楽しむことができました。広島や京都での学びは、私たちに多くの気づきを与えてくれました。気づけば、この学校は私たちにとってかけがえのない日常となっていました。

これから先、どのような道が待っているのかは分かりません。険しい山や深い谷に出会うこともあるでしょう。しかし、この三年間で学び、支え合い、乗り越えてきた経験があれば、どんな困難にも立ち向かっていけると信じています。

結びにあたり、これまで私たちを支えてくださったすべての皆様に改めて感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸、そして仙台二華中学校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。答辞といたします。

令和8年3月7日 卒業生代表

## 予餞式 ～3年生へ感謝を込めて～

3月2日（月）、中学校を巣立つ卒業生への感謝を示そうと、生徒会執行部が中心となって企画した予餞式が行われました。1・2年生は3年生にこれまでの感謝を、3年生は後輩たちへ託す思いをそれぞれ伝え合いました。今年は、執行部作成の〇×クイズ、思い出振り返りビデオの上映、部活動の後輩たちからのメッセージプレゼントなど、先輩方に直接声で感謝を届けたいという強い思いを感じる内容でした。

最上級生として、どんな時も明るく、一致団結しながら力強い背中の後輩たちを引っ張ってくれた3年生。無限の可能性を秘めた皆さんのますますの飛躍を心から願っています。



## 令和7年度 課題研究成果発表会

2月24日（火）に課題研究成果発表会が行われました。この発表会は、本校の大きな柱である探究学習の成果を発表するとともに、参加者から質疑や助言等をもらうことで、研究の質的向上を図ることを目的としています。当日は、進行やタイムマネジメントを生徒が行うなど、生徒主体の運営のもと中学校・高校の垣根を越えて成果を発表しました。

午前中は、各教室を使ってすべての班が2回の発表を行い、午後は各学年の代表となった班が体育館において全校生徒の前で発表を行いました。2年生の代表班は「ダンボールで椅子を作ろう！！」というテーマを掲げ、身近な材料と道具を使い、丈夫な椅子を簡単に作成する方法について研究しました。東日本大震災の教訓を踏まえ、避難所で活用できるものという視点で探究した成果は大変素晴らしいものでした。また、3年生の代表班は「酒は水で説明できる」のテーマのもと、研修旅行で訪れた京都で水質調査を行い、水質とその地の文化とのつながりに迫りました。長期的な計画を立案し、文献研究と研修旅行での現地調査、そしてまとめまで、科学的根拠に基づいた研究内容は説得力に富み、多くの生徒が納得しながら聞き入っていました。

平日にもかかわらず200名近くの保護者の皆様に参観いただき、生徒たちは張り切って活動することができました。お忙しい中、来校いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。

